【回　覧】

# つばめきた

## 子どもの成長と適切な距離感

校長　　小川　泰文

猛暑も一段落し、過ごしやすい季節になってきました。朝夕の心地よい冷気や、空を舞うトンボの姿に秋の訪れを感じる今日この頃です。

さて先日、海洋冒険家の堀江謙一さんが、来年５月にヨットによる単独無寄港での太平洋横断に挑戦することを発表しました。堀江さんは現在８８歳。そのバイタリティには驚くばかりです。ご本人曰く、「チャレンジャーとしてのマグマが噴き出した」とのこと。

堀江さんは昭和３７年、２３歳の時に世界初の太平洋単独無寄港横断に成功し、同年に出版した航海記『太平洋ひとりぼっち』はベストセラーとなりました。

私は、同じ２３歳の時に、たった１人でヨットを操縦して日本からアメリカまで行った青年がいたことを知り、冒険への憧れとともに、自分とは桁違いのスケールに深い感銘を受けたことを覚えています。

堀江さんのような大きなスケールではなくとも、若者は未知の世界を見たいという思いから、行動範囲を徐々に広げていくものではないでしょうか。

このように子どもが少しずつ親から離れていく姿を見て、私は「子育て四訓」を思い出しました。

一、乳児は　しっかり　肌を離すな
一、幼児は　肌を離せ　手を離すな
一、少年は　手を離せ　目を離すな
一、青年は　目を離せ　心を離すな

「北っ子」は、三つ目の「少年」の時期に当たります。この時期は、友達との付き合いによって社会性が育つ大切な時期です。

そのため、ここではしっかりと「手を離し」、子どもたちの活動範囲を広げてあげることが求められます。しかし、まだ様々な危険も伴うため、「目は離さない」ことが重要です。遠くから温かく見守り、必要な時に手を差し伸べる、という心構えが大切だといわれています。

子どもとの適切な距離感を保ち、必要なサポートを心がけながら、これからも地域・家庭の皆様とともに、子どもたちの健やかな成長を支えてまいりたいと思います。

今月もよろしくお願いいたします。

# 心の授業参観

９月８日（火）に学習参観を行いました。今回は、全学級で道徳科の授業を公開し、子どもたちが自分の心と向き合い、考えたり、話し合ったりする姿を見ていただきました。

各学年の実態に応じて、教材や活動内容を工夫し、書く活動や意見交流で自分の心と対話できるようにしました。たくさんの方々から参観していただき、子どもたちも張り切って学ぶことができました。ありがとうございました。





# PTAガラス拭き作業

学習参観後にはＰＴＡガラス拭き作業が行われました。短時間ではありましたが、保護者の方々だけでなく、子どもたちにも大勢参加してもらい、環境を整えることができました。参加していただいた皆様、大変ありがとうございました。







# 不審者対応避難訓練

９月１１日（金）に燕警察署の方のご指導の下、不審者対応訓練を行いました。

まず、不審者が校内に侵入した想定で、避難訓練を行いました。その後、不審者に遭遇したときの対処法について、警察の方の講話やロールプレイで適切な行動を考えました。








## ～　北っ子の活躍　～

燕市・弥彦村児童生徒科学作品展

金　賞　　１年　ＳＳ　「昆虫標本」　　３年　AK「昆虫の標本」

銀　賞　　４年　ＦＫ　「石の虫たち」